

第93期 事業報告書

2017年4月1日～2018年3月31日

BUSINESS REPORT

for the twelve-month period ended march 31, 2018

当社グループの業績

売上高	(前年同期比8.6%増) 39,445 百万円
営業利益	(前年同期比71.0%増) 1,148 百万円
経常利益	(前年同期比53.5%増) 1,284 百万円
親会社株主に帰属する 当期純利益	(前年同期比24.5%増) 856 百万円
一株当たり 当期純利益 [※]	58円46銭

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。

注記事項

本報告書は平成30年4月27日発表の決算短信の数値、文章を基に作成しております。その後公表される可能性がある訂正情報、業績予想の修正情報、決算の詳細につきましては金商庁EDINET、当社ホームページ「IR情報」掲載資料にてご確認ください。

証券コード:5476

株主の皆様には日頃より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。

第93期の決算を終了いたしましたので、ここに当期の概況をご報告申し上げます。

事業の経過およびその成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、緩やかながらも回復を続けました。雇用や所得環境の改善等を受けて個人消費が持ち直し、また、企業の収益環境の好転を受けて民間設備投資も増加に向かいました。輸出向け需要の持ち直しも加わり、企業の生産活動は概ね回復基調が続きました。

海外の経済も、保護主義の動きが懸念されたものの、米国、欧州共に堅調に推移しており、中国も政府の経済政策により安定した成長を続けました。

こうした経済環境の中、当社グループにおいては、堅調な需要を受けて販売面では好調に推移いたしました。下期には原材料や燃料価格の高騰により業績への影響を受けました。

これらの結果、当連結会計年度の業績は、売上高394億4千5百万円(前年同期比8.6%増)、営業利益11億4千8百万円(前年同期比71.0%増)、経常利益12億8千4百万円(前年同期比53.5%増)、親会社株主に帰属する当期純利益8億5千6百万円(前年同期比24.5%増)となりました。

(2ページに続く)

代表取締役社長

河瀬 昌博



対処すべき課題

足下の当社グループを取り巻く事業環境は、国内外の経済は不確定要素があるものの、当面は回復基調が続き、受注は堅調に推移すると想定されます。一方、昨年の後半以降、原燃料や電力等の価格上昇が顕著となり、業績面への影響が出ています。

こうした状況の中で、足下の課題として、販売価格の改善、高付加価値製品の拡大、さらにコストダウン等に重点的に取り組んでまいります。

中期的な事業環境は、北朝鮮を始めとした地政学的な問題、米国の保護貿易政策、英国のEU離脱等の動向によってはマイナス影響を受ける可能性もあり、不確実な状況と認識しておかなければなりません。

こうした中期的な環境下で、当社グループは一昨年策定した2016～2020年度中期経営計画「CHANGE (Challenge And Generate) 20」に沿って、引き続き強靱な事業体質と安定した収益体質の構築に取り組むとともに、将来の成長に向け、「挑戦」と「創造」に邁進いたします。

昨年10月に公表いたしました当社における製品の検査結果改ざん行為、および本年3月に公表いたしました当社子会社における製品の検査結果ねつ造行為につきまして、株主の皆様をはじめ、お客様や関係者の皆様に多大なご心配とご迷惑をお掛けしたことを深くお詫び申し上げます。

当社グループとして、二度とこのような行為をおこさぬよう、再発防止策を着実に実行し、信頼回復に努めてまいります。

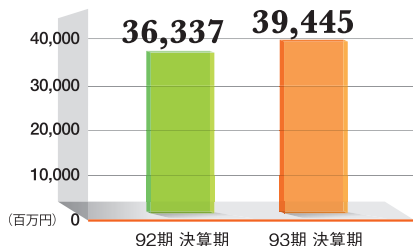
また、コンプライアンス強化への取り組みはもとより、安全活動、環境保全、防災対策、リスクマネジメント体制の強化を進めるとともに、組織の活性化による明るい風土作りを図り、人材確保と育成に注力し企業基盤を強化してまいります。

株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

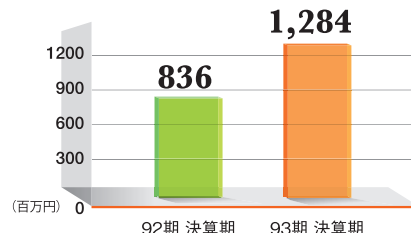
平成30年6月

》業績の推移（連結）

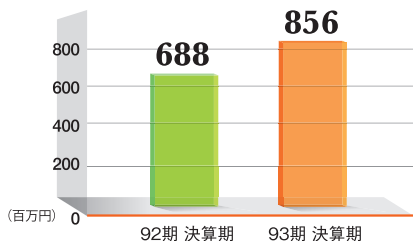
売上高



経常利益

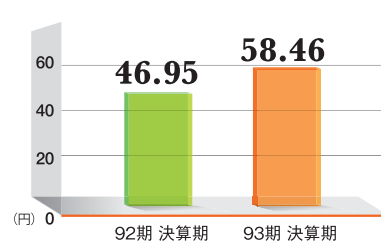


親会社株主に 帰属する 当期純利益

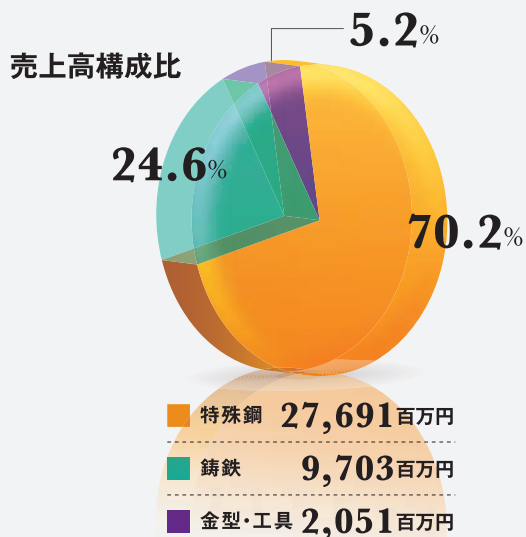


1株当たり 当期純利益*

※当社は、平成29年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を行っております。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。



》セグメント別概況(第93期 決算期)



■ 特殊鋼 27,691百万円

■ 鋳鉄 9,703百万円

■ 金型・工具 2,051百万円

■ 鋳鉄部門

9,703百万円(24.6%)

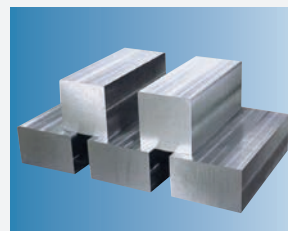
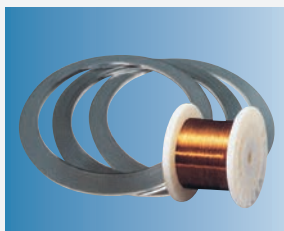
大型・中型トラック等の商用車向けに加え、射出成型機やロボット等の産業機械及び建設機械向けの堅調な需要を反映して、売上数量が増加し、当連結会計年度の売上高は97億3百万円(前年同期比13.2%増)となりました。損益面では、原燃料コストの上昇等の減益要因があったものの、売上数量の増加および販売価格の改善等により、営業利益は6億8千6百万円(前年同期比3.5%増)となりました。



■ 特殊鋼部門

27,691百万円(70.2%)

各製品分野で自動車向けの需要が堅調に推移したことに加え、エネルギー産業向け溶接材料やパソコン等精密機器向け特殊合金分野の売上数量が増加し、当連結会計年度の売上高は276億9千1百万円(前年同期比8.0%増)となりました。損益面では、原燃料コストの上昇等の減益要因があったものの、売上数量の増加および販売価格の改善等により、4億3千9百万円の営業利益(前年同期は9千5百万円の営業損失)となりました。



■ 金型・工具部門

2,051百万円(5.2%)

当連結会計年度の売上高は20億5千1百万円(前年同期比3.6%減)となりました。損益面では、売上の減少および材料コストや固定費の上昇等により、営業利益は2千2百万円(前年同期比78.5%減)となりました。



日本高周波鋼業グループ2016~2020年度中期経営計画 CHANGE (Challenge And Generate) 20

経営方針

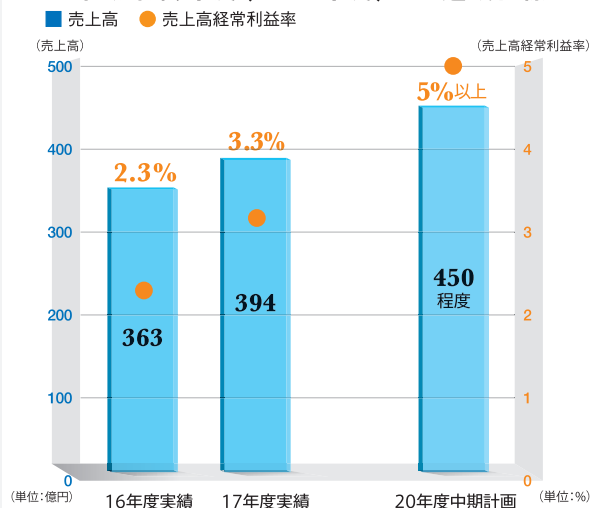
当社グループは、工具鋼、特殊合金の非量産型高級特殊鋼製品、鋳鉄製品及び金型・工具製品の製造販売を通じ、幅広い産業分野(自動車、エレクトロニクス、産業機械、エネルギー、住宅他)へ優れた製品を提供して顧客および社会に貢献してまいります。

中期基本方針 (20年度VISION)

- ブランド力向上 - 高付加価値化の推進
- Q(品質)、C(コスト)、D(納期)競争力の強化
- 事業領域の拡大
- 神戸製鋼グループにおける役割強化

数値目標

■ 中期最終年度(2020年度)での達成目標



部門別重点施策

■ 特殊鋼部門

- ① 高付加価値製品の拡大
 - 工具鋼分野 : 高級金型用鋼、素形材を重点分野として拡販を図ってまいります。
 - 特殊合金分野: 小ロット対応力を活かした溶材、特殊品分野での需要の取り込みに加え、高機能自動車部材への拡販を推進いたします。
 - 両分野共通 : 拡販支援の為、要員増強により技術サポート機能を強化してまいります。
 - ※2017年度下期に大型化を完了した鍛造用3,000トンプレスのマニピレータ等を活かして、生産量の拡大、生産性の向上を図ってまいります。
- ② コスト競争力強化
 - 製造コスト低減に向け、設備投資を積極的に実施いたします。
 - ※2018年度の後半には分塊ミルの更新・多機能化の工事完了を予定しており、工具鋼および特殊合金のコスト低減を図ります。また、加熱炉・熱処理炉等の省エネルギー・燃料転換工事も引き続き進めてまいります。
- ③ 技術開発の推進
 - 中長期的な事業の柱となる製品の創出を図ってまいります。また、生産技術も継続して強化してまいります。磁定式振動発電のプロジェクトに参加する等、外部との連携も積極的に進めてまいります。
- ④ 品質の向上
 - 設備および操業管理の徹底により不良損失低減を図るとともに、計測装置の導入推進により品質の見える化を強化し、品質の向上に注力いたします。鍛造プレスのマニピレータの大型化による品質面の効果も見込んでおります。

- ⑤ 安定生産の維持
 - 設備管理機能強化(要員増強他)により故障リスクの低減に努めます。また、重要予備品の充実により、重大故障発生時の休止期間のミニマイズ化を図ってまいります。
- ⑥ 神戸製鋼グループとしての役割強化
 - 神戸製鋼所の生産体制再構築に対応して、生産および品質の管理体制などを整備し、小ロット特殊品の一部の生産を担ってまいります。

■ 鋳鉄部門

事業基盤を整備し、安定的に売上高100億円を超える事業規模を目指すとともに品質およびコスト競争力の強化により収益力を強化してまいります。

- ① 営業面
 - ・長年にわたり培われた技術力と新鋭ラインの競争力を活かし、受注拡大に取り組みます。
- ② 生産面
 - ・既に稼動している中小型鋳物造型ラインに加えて2017年度末には小型鋳物造型ラインの更新および鋳込み工程の自動化工事を完了しました。これらの設備投資を活かして、更なる生産性向上、生産量の拡大、品質向上を図ってまいります。
 - ・鋳型用の砂の再生・再利用専用設備の導入により、環境負荷低減に努めてまいります。
 - ・仕上工程の機械化等による生産性向上や省力化に取り組んでまいります。

■ 金型・工具部門

高付加価値製品の拡販に加え、金型の設計から製作までの一貫したサービスを行うツーリングメーカーへの展開を図るとともに、設備投資によりコスト競争力の強化に取り組んでまいります。

》第94期業績予想（連結）

平成30年4月27日に発表いたしました通期の業績予想は以下の通りです。

売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	一株当たり当期純利益 ^(※)
43,500百万円	1,000百万円	1,040百万円	620百万円	42円30銭

業績予想につきましては、現状で判断しうる一定の前提に基づいており、今後発生する状況の変化により異なる業績結果となることもありますので、投資等の判断材料として全面的に依拠されることは差し控えていただきますようお願いいたします。

》配当状況

当社は定款において9月30日(上半期末日)及び3月31日(期末日)を配当基準日と定めておりますが、現時点では上半期末日および期末日における配当予想額は未定であります。

	1株当たり配当金(円)			配当金総額 (年間) (百万円)	配当性向 (連結) (%)	純資産配当率 (年間) (%)
	上半期末	期末	年間			
第94期	未定	未定	未定	—	—	—
第93期	0.00	15	15	219	25.7	1.1

GROUP TOPICS

富山製造所 鍛造用3000トンプレス マニプレータ大型化

富山製造所では各種鍛鋼品や素形材の生産量増加対応およびコスト低減を図るため、鍛造工場内3000tプレスで使用するマニプレータを更新、2017年10月より本格稼働を開始しました。

マニプレータを大型化したことにより、長尺材を中心に、生産性が向上しました。

今後もマニプレータの高い運動性能を最大限に活かし、さらなる生産能率・作業能率の向上、コスト低減に取り組んでまいります。

マニプレータ:加熱された鋼材をプレス機へ供給したり、加工の状況に合わせて、鋼材の位置を移動させるための設備。



高周波鍛造(株) 新鍛造ライン竣工

2017年8月から工事を進めていた小型鋳物造型ライン(新鍛造ライン)の更新工事が2018年4月に完工し、本格稼働を開始しました。

新鍛造ラインは36年間稼働した鍛造ラインの老朽化に伴い更新を行ったもので、機械設備能力増強と歩留まりの更なる改善を目的とし、それらを合わせて40%の生産性向上を見込んでおります。

生産負荷の高い中小型鋳物造型ラインからの一部生産移行と新規拡販により、生産量を現行の月間生産量400トンから2020年までに700トンに増やすことを目指し、広くお客様の要望に応えるよう努めてまいります。



高周波精密(株) 横型マシニングセンター導入

2017年12月に熱処理前粗加工の外注費削減や生産性向上のため横型マシニングセンターを更新しました。

新マシニングセンターは、製品をセットするパレットと工具を自動交換できる機能を有しているため、夜間の無人加工が可能となり稼働時間が増加しました。生産能力がアップし、従来の外注加工を内製化することにより、外注費の大幅な削減を実現しました。また、機械剛性や精度も従来の設備と比較し向上したことから、生産性も向上しております。



》連結財務諸表

連結貸借対照表

	平成29年度 (平成30年 3月31日)	平成28年度 (平成29年 3月31日)
資産の部	44,355	40,551
流動資産	21,096	19,251
現金及び預金	169	197
預け金	337	1,319
受取手形及び 売掛金	7,984	7,572
製品	2,883	2,938
仕掛品	5,261	3,643
原材料及び貯蔵品	3,802	2,964
繰延税金資産	461	446
その他	205	180
貸倒引当金	△10	△10
固定資産	23,258	21,299
有形固定資産	21,252	19,438
建物及び構築物	3,766	3,510
機械装置及び 運搬具	7,102	6,321
土地	8,489	8,489
建設仮勘定	1,494	740
その他	399	377
無形固定資産	95	79
投資その他の資産	1,911	1,782
投資有価証券	1,153	1,036
長期貸付金	—	0
退職給付に係る資産	509	477
繰延税金資産	59	66
その他	219	232
貸倒引当金	△30	△30
資産合計	44,355	40,551

(単位:百万円)

	平成29年度 (平成30年 3月31日)	平成28年度 (平成29年 3月31日)
負債の部	23,532	20,493
流動負債	17,471	14,697
支払手形及び買掛金	5,103	4,661
電子記録債務	3,334	2,337
短期借入金	5,233	4,315
1年内返済予定の 長期借入金	346	398
未払金	319	234
未払費用	1,445	1,238
未払法人税等	167	111
賞与引当金	501	466
廃棄物処理費用引当金	58	—
営業外支払手形	728	535
その他	232	399
固定負債	6,061	5,795
長期借入金	315	276
繰延税金負債	58	5
再評価に係る 繰延税金負債	1,783	1,783
役員退職慰労引当金	83	68
退職給付に係る負債	3,332	3,227
その他	487	433
純資産の部	20,822	20,058
株主資本	19,505	18,869
資本金	15,669	15,669
資本剰余金	1,139	1,139
利益剰余金	2,734	2,097
自己株式	△38	△37
その他の包括利益累計額	1,317	1,189
その他有価証券 評価差額金	273	195
繰延ヘッジ損益	—	5
土地再評価差額金	1,360	1,360
退職給付に係る 調整累計額	△316	△371
負債・純資産合計	44,355	40,551

単位未満切捨て

連結損益計算書

(単位:百万円)

	平成29年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日)	平成28年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日)
売上高	39,445	36,337
売上原価	34,200	31,767
売上純利益	5,244	4,570
販売費及び 一般管理費	4,096	3,898
営業利益	1,148	671
営業外収益	253	291
営業外費用	116	125
経常利益	1,284	836
特別利益	223	13
特別損失	480	102
税金等調整前 当期純利益	1,027	747
法人税、住民税 及び事業税	144	63
法人税等調整額	25	△4
親会社株主に帰属する 当期純利益	856	688

単位未満切捨て

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	平成29年度 (平成29年4月1日から 平成30年3月31日)	平成28年度 (平成28年4月1日から 平成29年3月31日)
営業活動による キャッシュ・フロー	1,498	2,539
投資活動による キャッシュ・フロー	△3,143	△1,889
財務活動による キャッシュ・フロー	635	△170
現金及び現金同等物 の増減額(減少△)	△1,009	479
現金及び現金同等物 の期首残高	1,516	1,036
現金及び現金同等物 の期末残高	507	1,516

単位未満切捨て

》会社データ

会社概要（平成30年3月31日現在）

会社名	日本高周波鋼業株式会社
設立	昭和25年5月18日
資本金	156億69百万円
所在地	〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047
上場	東京証券取引所1部上場
売上高	連結 394億45百万円(平成29年度実績) 単体 246億09百万円(平成29年度実績)
従業員数	連結 1,254名 単体 561名
事業内容	高級特殊鋼および特殊合金の製造販売 各種高級特殊鋼および特殊合金の線・棒・鍛造品・加工品
主要取引銀行	みずほ、三井住友、三菱UFJ、 みずほ信託、三菱UFJ信託、富山第一

役員（平成30年6月26日現在）

代表取締役社長	河瀬 昌博
常務取締役	山名 壽
常務取締役	湖東 彰弘
常務取締役	堂野 和洋
常務取締役	堀川 健一
取締役	定村 剛
取締役	小野寺 謙司
取締役	山地 敏行
取締役	宮島 哲也
取締役	小島 一美
監査役	久留島 靖章
監査役	中條 芳治
監査役	松本 博明
監査役	小原 孝秀

(注) 1. 宮島 哲也、小島 一美の両氏は社外取締役であります。
2. 松本 博明、小原 孝秀の両氏は社外監査役であります。

》株式データ（平成30年3月31日現在）

株式の状況*

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	14,687,617株(うち自己株式数30,817株)
株主数	10,907名

*当社は、平成29年10月1日を効力発生日として、10株を1株に併合する株式併合を実施したため、発行可能株式総数は24,000,000株、発行済株式総数は14,687,617株となっております。

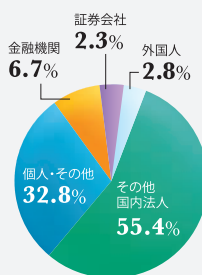
●大株主

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
株式会社神戸製鋼所	7,575	51.68
浅井産業株式会社	271	1.85
野村信託銀行株式会社(投信口)	205	1.40
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	143	0.98
西田 博崇	141	0.96
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	133	0.91
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口1)	124	0.85
豊田通商株式会社	110	0.75
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口2)	108	0.74
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	106	0.72

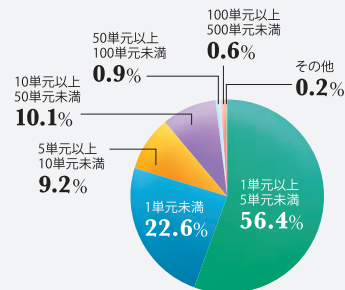
(注)持株比率は自己株式(30千株)を控除して計算をしております。

株式分布状況

●所有者別株式数



●所有単元数別株主数



日本高周波鋼業株式会社

本社

〒101-0032 東京都千代田区岩本町1-10-5 TMMビル8階
TEL 03-5687-6023(代) FAX 03-5687-6047

大阪支店

〒530-0022 大阪府大阪市北区浪花町12-24 赤坂天六ビル7階
TEL 06-4802-1480(代) FAX 06-4802-1481

名古屋支店

〒489-0071 愛知県瀬戸市暁町9 株式会社カムス 中部テクノセンター内
TEL0561-86-9005 FAX0561-86-9008

Bangkok Liaison Office

39/9 Rama 3Rd.,Chongnonsee ,Yannawa,Bangkok
10120 ,Thailand
TEL 66-2294-9258 FAX 66-2294-9260

富山製造所

〒934-8502 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3181(代) FAX 0766-84-3468

グループ会社

高周波鑄造株式会社

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108
TEL 0178-43-0127 FAX 0178-22-2468

高周波精密株式会社

〒272-0003 千葉県市川市東浜1-1
TEL 047-328-3201 FAX 047-328-6797

株式会社カムス

〒373-0014 群馬県太田市植木野町328
TEL 0276-40-5005 FAX 0276-40-5008

エヌケイ精工株式会社

〒934-0025 富山県射水市八幡町3-10-15
TEL 0766-84-3175 FAX 0766-84-3137

麦卡登商貿(上海)有限公司

上海市徐匯区肇嘉浜路777号 青松城大酒店10階1004号
TEL 86-21-6443-5061 / 5062 FAX 86-21-6443-5066

株式会社東北コアセンター

〒031-0071 青森県八戸市沼館4-7-108 高周波鑄造内
TEL 0178-46-1856 FAX 0178-43-0153

株主メモ

事業年度 毎年4月1日から3月31日まで

定時株主総会 毎年6月中に開催

株主名簿管理人 〒103-8670 東京都中央区八重洲1-2-1
事務取扱場所 みずほ信託銀行株式会社本店証券代行部

1単元の株式数 100株

公告方法 電子公告により行います。
公告掲載URL ▶ <http://www.koshuha.co.jp>
ただし、やむを得ない事由により電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

●郵便物送付先・電話お問合わせ先・お取扱店

	証券会社等に口座をお持ちの場合	証券会社等に口座をお持ちでない場合 (特別口座の場合)
郵便物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行 証券代行部
電話 お問合わせ先		フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
各種手続お取扱店 (住所変更、株主配 当金受取り方法の 変更等)	お取引の証券会社等 になります。	みずほ証券 本店および全国各支店 プラスチック(みずほ銀行内の 店舗)でもお取扱いたします
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行※およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります) ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。	みずほ信託銀行 本店および全国各支店※ ※トラストラウンジではお取扱できませんのでご了承ください。
ご注意	支払明細発行については、右の 「特別口座の場合」の郵便物送 付先・電話お問合わせ先・各種手 続お取扱店をご利用ください。	特別口座では、単元未満株式の買 取以外の株式売買はできません。証 券会社等に口座を開設し、株式の 振替手続を行っていただく必要が あります。

当社のホームページでも詳しい情報を同時に開示しております。

ぜひ併せてご覧ください。

<http://www.koshuha.co.jp>

日本高周波 |

検索

